

第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価結果

※「介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)」の自己評価シートをもとに作成

保険者名	第7期介護保険事業計画に記載の内容				R02年度(年度末実績)		
	区分	現状と課題	第7期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
半田市	①自立支援・介護予防・重度化防止	認知症の進行とともに変化する本人や家族のニーズに適切に支える体制の構築が必要	本人、家族が安心して過ごせる居場所と相談体制の充実	・認知症カフェの設置数(箇所) 目標値 5 実績値 4(達成率80%)	緊急事態宣言下やコロナ感染の拡大予防のため、いずれのカフェも活動を自粛することで開催休止や縮小が続いた。	△	コロナ禍でも安全に相談や情報共有できる場を確保する必要がある。いずれのカフェも感染予防に配慮し、安全な場所として開催していく。
半田市	①自立支援・介護予防・重度化防止	認知症の進行とともに変化する本人や家族のニーズに適切に支える体制の構築が必要	家族支援の強化	・家族支援プログラム参加実人数 目標値 10人 実績値 9人(達成率90%) ・認知症介護家族交流会参加者延人数 目標値 120人 実績値 66(達成率55%) ・男性介護者の集い参加延人数 目標値 40人 実績値 0人(達成率0%)	コロナウイルスの感染拡大予防のため、定員を半分に変更したり、募集しても応募がないなど、人が参集して交流するプログラムや認知症介護家族交流会は参加人数が減少した。	△	コロナ禍で人が集まって実施する方法は避けられてしまうため、これに代わる手法の検討が必要である。
半田市	①自立支援・介護予防・重度化防止	認知症の進行とともに変化する本人や家族のニーズに適切に支える体制の構築が必要	認知症安心ガイドブックの活用	・認知症安心ガイドブックの配布数 目標値1000部 実績値550部 (達成率55%)	イラストを用いた説明や内容の見直しなど、大幅な改訂を行い、より見やすい紙面を工夫した。その内容が評価され、令和2年度に国立長寿医療研究センター主催の認知症ケアバズコンテストにて優秀賞を受賞した。	○	今年度は、在宅医療介護部会での検討など改訂の実施に時間をかけた。来年度から関係機関への周知や市民への普及など実施する。
半田市	①自立支援・介護予防・重度化防止	認知症の進行とともに変化する本人や家族のニーズに適切に支える体制の構築が必要	初期支援の充実	・初期集中支援チームの対応案件数 目標値 15 実績値 4(達成率 26.7%) ・包括支援センター総合相談(認知症関係)の件数 目標値1000 実績値1391(達成率139.1%)	包括支援センターの総合相談は件数が増えている一方、初期集中支援チームの対応ケースは増えないため、スキームの見直しを行う。	◎	初期集中支援チームを有効に活用するため、その機能や活動を関係機関へ周知する。
半田市	①自立支援・介護予防・重度化防止	認知症の進行とともに変化する本人や家族のニーズに適切に支える体制の構築が必要	馴染みの関係を継続するための支援	・認知症サポーター養成講座の受講者数(キッズサポーターを含む) 目標値960人 実績値1000人(達成率104%)	認知症地域推進員を中心に企画・実施を調整し、認知症サポーターは525人(9回)、認知症キッズサポーター養成講座を小中学生475人(7校)で開催した。	◎	引き続き、認知症の理解者を増やすため養成講座を実施するとともに、養成した人材の活用について具体策を検討する。特に認知症キッズサポーター養成講座は全小中学校での開催を目標にPRを続け、定着化を図る。
半田市	②給付適正化	2025年に向けて、高齢者の増加が見込まれる中、本市では6期計画期間中に介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)の開始など、大規模な要支援認定者に対する仕組みの変更がありました。今後更に多くの事業が地域支援事業に組み込まれることが予想されることから、本市の実情と資源を活用したきめ細やかなサービス提供と単価の設定、利便性の向上に努める必要があるとともに、本市の高齢者のニーズ、家族である支援者のニーズをアンケートだけでなく、より広い方法で声を集め、その人にあった様々なサービス提供を整える必要がある。	要介護認定の適正化	愛知県研修会参加者 28名、内部研修実施回数 12回	愛知県研修会参加者 0名、内部研修実施回数 8回	△	県主催の研修については、新型コロナウイルス拡大防止のため今年度は参加できていないが、調査員の内部研修を定期的に開催し、判断に迷う事例等について協議し、選択の統一を図っている。また、調査票は、市職員にて全件チェックを行っており、引き続き実施していくものとする。
半田市	②給付適正化		ケアプランチェック	地域密着型事業所実地指導に併せて実施 28件	27件	○	新型コロナウイルス拡大防止の観点から、介護事業所に臨場しての実地指導が難しいため、居宅介護支援事業所に対するケアプランチェックを効率的に実施し、介護給付の適正な状態を確保する必要がある。
半田市	②給付適正化		住宅改修実態調査	(疑義が生じた場合に実施することとしているため、目標は定めない。)	0件	○	疑義が生じていないケースであっても、施工業者へのけん制効果発揮のため実施件数を多くしていきたいところではあるが、そのためには利用者、住宅改修施工業者、担当ケアマネの日程を事前に調整する必要があるなどの問題がある。
半田市	②給付適正化		医療情報との突合・縦覧点検	毎月1回	12回	○	医療情報との突合を行うことで、不適切なサービス利用についてサービス事業所への確認を行い、適正化につながった。
半田市	②給付適正化		介護給付費通知	年1回	1回	○	費用対効果が見えにくい、牽制効果が考えられるため引き続き実施する。
半田市	③サービス利用見込み			・給付額等を確認し、計画値と大幅に乖離する傾向があれば、その要因を探るものとする。 ・サービスごとの給付額について、計画値と大幅に乖離するものがあればその要因を探り、介護保険料算出の際に、過大又は過少な算出とならないよう努める。	・認定率、利用者数、給付費及び地域密着型サービスの整備状況の各計画値と各実績値(整備数)について、第8期計画の基礎数値として実績の比較を行った。	○	・令和3年度以降については、第8期計画期間となるため、新しい計画値と実績値の差異を注視していく。